
岡山県の企業の皆様、高校生に授業をしませんか？

～高校等の授業用プログラム「Locus」への登録と
フィールドスタディ実施のご検討にあたって～



岡山県マスコット ももっち・うらっちと仲間たち

令和8年4月

岡山県総合政策局地方創生推進室 / 株式会社マイナビ

岡山県では、市町村及び株式会社マイナビと連携し、若者の地元愛着心の醸成に取り組んでいます。

県内企業の皆様から授業をしていただき、高校生に地元のことを知り、学んでもらおうとするもので、この資料は取組の内容やご協力いただける場合の流れ等を説明するものです。

01

取組の背景

02

若者に地元を知ってもらうために

03

令和7年度の実施状況

04

企業の皆様をお願いしたいこと

05

ご留意いただきたい点

06

Locus登録方法とお問い合わせ先



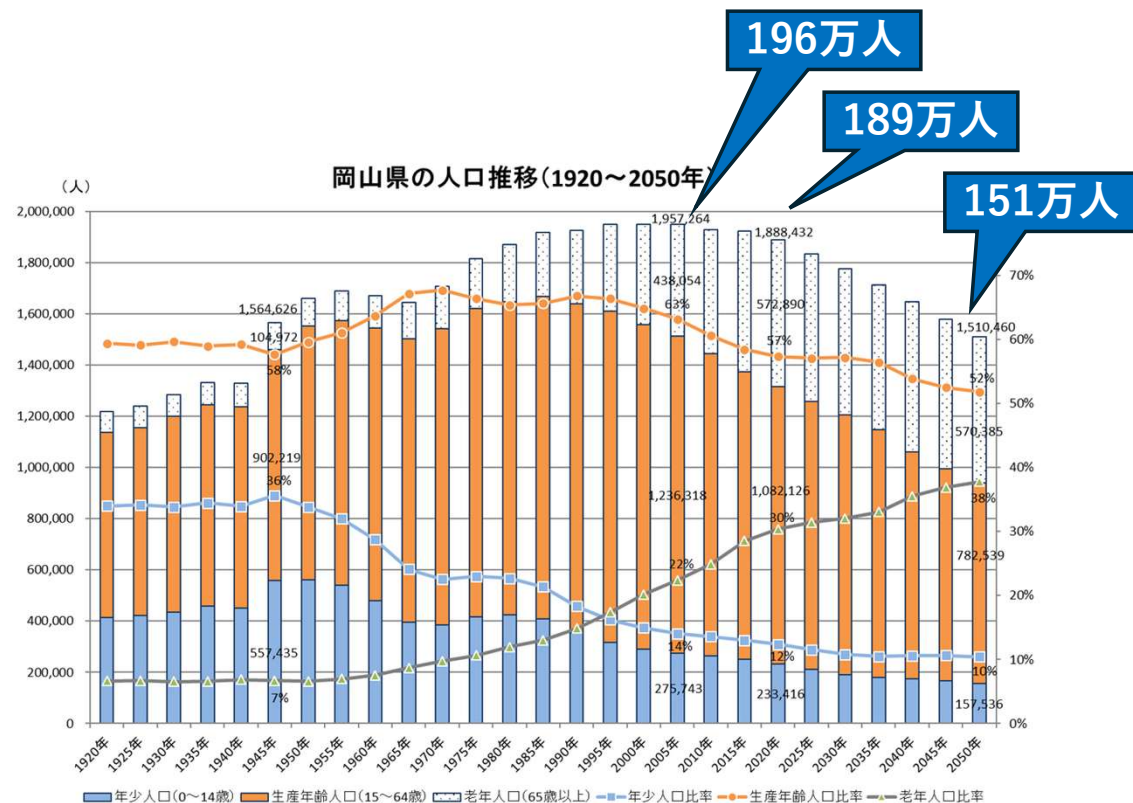
01

取組の背景

人口減少が続いています！

岡山県の人口の現状等

- 平成17(2005)年の約196万人をピークに減少
令和2(2020)年の時点で約189万人
- 令和32(2050)年には約151万人になると
推計(国立社会保障・人口問題研究所)



※令和2(2020)年までは総務省統計局「国勢調査」、令和7(2025)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5年12月推計)」より作成。

このまま人口減少が
継続すると



- 生産年齢人口の減少
- 国内市場の縮小
- 地域の活力の低下



人口減少に早急に対応しなければ
私たちの生活に深刻な影響があると懸念されます。

その一方で



現在の少子化・高齢化の状況を考えると、
当面、人口減少は続きます。
その上で、生じる諸課題に的確に対応する
必要があります。





当面の人口減少は避けられない。
その上でどうしていくか？



市町村単独では難しい内容もあるため、
県と市町村がチームを組んで、一緒に解決に取り組んでおり、
その中のひとつが「若者の地元愛着心の醸成」です。

02

若者に地元を知ってもらうために

若者に地元を知ってほしい！

課題

- 若者の流出に歯止めがかかっていない
- 地元を知らずに県外に出てしまう



課題解決
目的達成のため

目的

- 若者の還流・定着
- 地方創生を担う人材の育成



授業「総合的な探究の時間」の活用

(株) マイナビ運営の授業用プログラム「Locus」と連携し、普通科等の生徒に地域を知ってもらう

企業の方が講義（フィールドスタディ）
・自社の課題解決の取組 など



生徒は、企業の取組や思い、企業人の姿を知る

地元への愛着がわく、卒業後も関心をもつ

将来のキャリア選択肢を広げる、
地元就職やUターン就職等につなげる



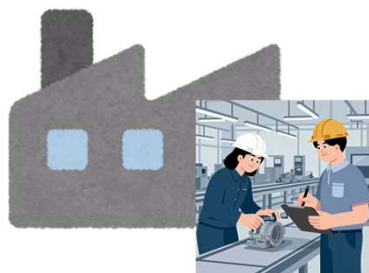
県外に進学した場合も、
高校時代までに地元企業を知っているほど、
将来的にUターンを希望する傾向が見られます。



高校



県外の大学等



地域の企業



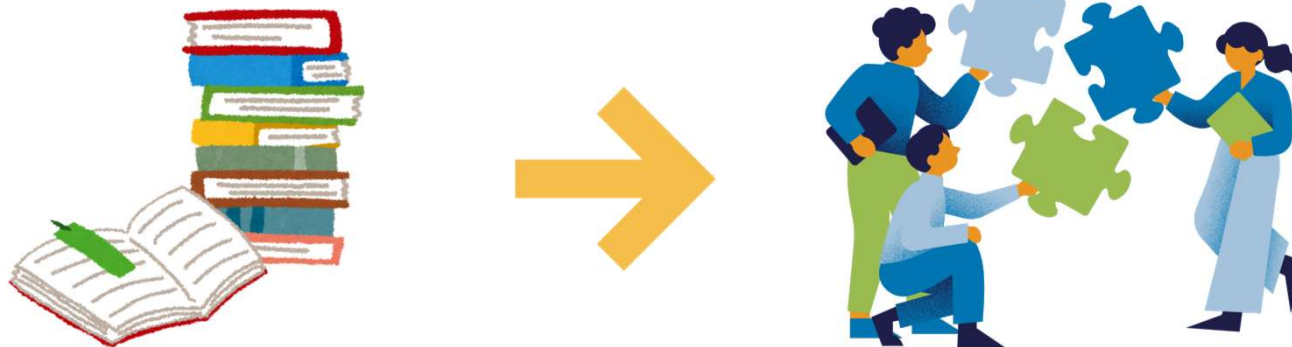
Uターン



やっぱり地元が好き
帰ろうかな

2022年度より「総合的な探究の時間」が必修化

- 文部科学省は「自ら課題を見つけ、調べ、考え、解決する力」の育成を重視しています。

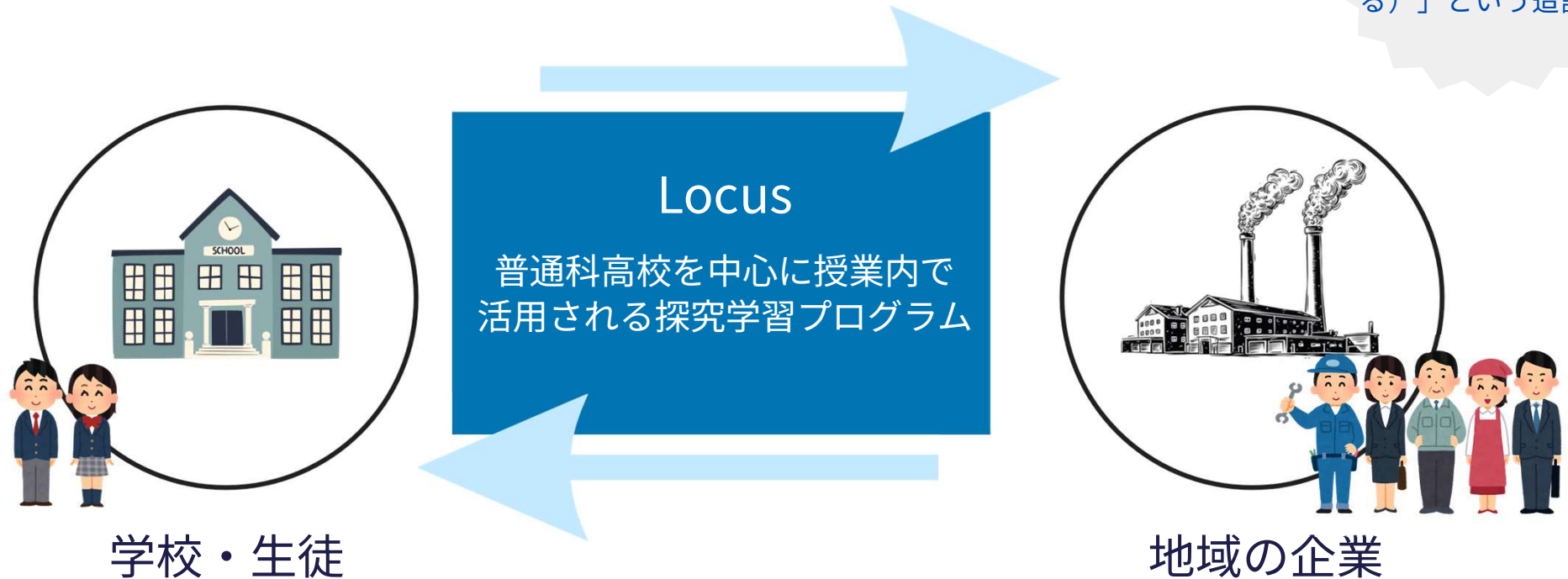


生徒が解決力を身につけるには、
企業の課題解決の取組を学ぶことも効果的

マイナビ運営の授業用プログラム「Locus（ローカス）」

Locusでは「総合的な探究の時間」を通じ、
生徒が、地域の企業や魅力を知る機会を提供します。

「Locus」とは
「Local（地域）」に
「focus（焦点を当て
る）」という造語



企業の皆様にとって この取組で期待できること

①



若者と直接話せる

若者のナマの考えを
知ることができる

②



社会貢献につながる

イチから企画するよりも
負担が少ない

③



業界・自社の認知度が上がる

進路選択前に知ってもらえる

令和7年6月3日、岡山県と株式会社マイナビは、
若者の地元愛着心の醸成に関する協定を締結しました。



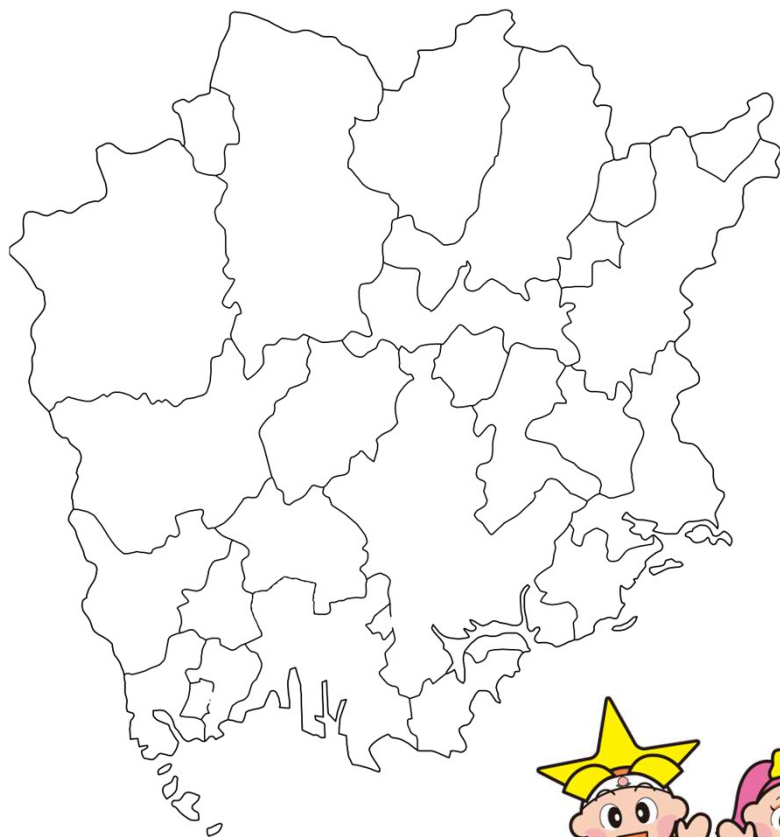
岡山県副知事

株式会社マイナビ
取締役

03

令和 7 年度の実施状況

令和7年度の岡山県内の実施状況



岡山学芸館高等学校
1年生480名→14社・団体
高梁高等学校
1年生160名→5社・団体
烏城高等学校
1年生100名→5社・団体

生徒の感想（令和7年度実施校より）

なんとなく遠い存在だった企業・仕事を少し身近に、自分の近い将来像だと感じることができた。まだ特に夢は決まっていないが、決めていく手がかりがあった。

知らない企業だったが、世界トップクラスのシェアを誇ることを知り、もっと地域の会社にも目を向けてみたら面白いのではと思った。

工業系の会社でも女性が活躍できることがわかり、企業へのイメージが変わった。

直接お客と接しない様々な企業が土台となっていることがわかり、目に見えにくいところで社会を支える仕事の大切さを感じた。



地域の企業へのイメージが変わり、視野が広がっています。

04

企業の皆様をお願いしたいこと

企業の皆様をお願いすることは
2時間程度（年に1回）の授業（フィールドスタディ）です。

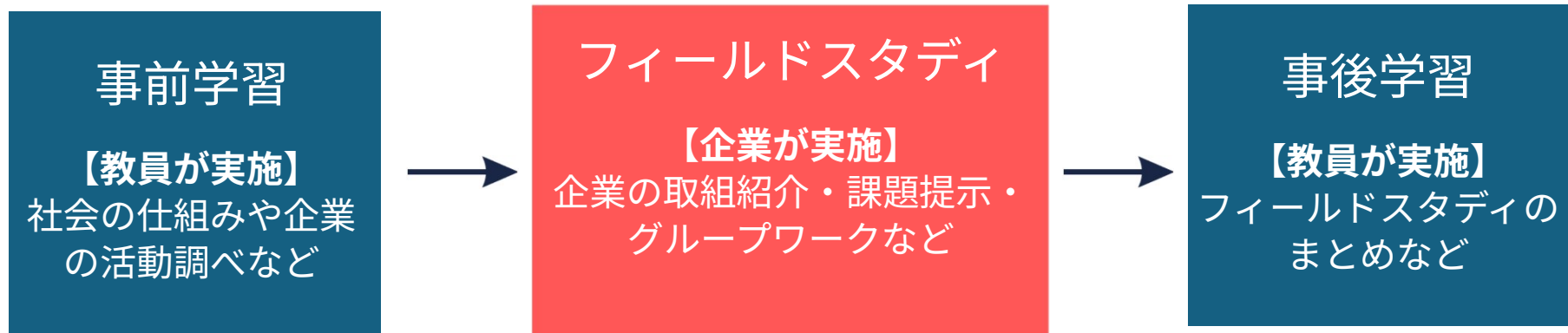
【フィールドスタディ実施までの流れ】

フィールドスタディ実施には、Locusへの登録が必要です！【R8.3.23時点で県内72社が登録】

- ① Locus新規登録フォーム入力 **5月13日（水）** ✕ →p.27から
- ② 学校から募集案内（専用システムにて）
- ③ 学校へ実施の可否を回答（専用システムにて）
- ④ 実施確定又は落選の連絡（専用システムにて）
- ⑤ 教員との打ち合わせ ※④で確定した場合、⑤以降に進む
- ⑥ 生徒からの事前質問確認（専用システムにて）
- ⑦ フィールドスタディ実施

学習の流れ

年間を通じた学習プログラムの中に組み込まれています。



★生きた事例を直接学ぶことで机上と実社会をつなぎます。

フィールドスタディの2つの実施形式

※学校の希望によります。

企業訪問型



企業が生徒を受け入れ
現場での学びを提供

出張講義型



企業が学校へ訪問し
対面で講義を実施

フィールドスタディ（出張講義の場合）の進め方の例

【第1部（45分）】

- ①企業と生徒の自己紹介
- ②企業紹介・事業紹介
- ③キーワードで伝える自社と世の中の関わり方
- ④質疑応答

～休み時間～

【第2部（45分）】

- ①探究のテーマを与える
- ②グループワーク又はディスカッションなど
（グループに分かれて机をくっつけるなど）
- ③グループごとに発表
- ④まとめ



05

ご留意いただきたい点

<フィールドスタディ実施にあたっての留意点①>

★下記の**事業趣旨**をご理解の上、
フィールドスタディの取組をお願いします！



- ✓ 課題解決のプロである企業の話聞くことにより、生徒が自ら課題を発見し、解決する力を身につける。
- ✓ これまで馴染みのなかった産業や企業について知ることにより、生徒の考え方や視野を広げる。
- ✓ 地域の企業の魅力や、いきいきと働く大人たちを知ってもらい、地元への愛着心を持ち、自分が働く将来像の一助とする。

★自社に採用することを直接的な目的とする機会ではありません。
生徒の課題解決力を育むための「授業」です。

<フィールドスタディ実施にあたっての留意点②>

★一方的な講義だけではなく、生徒自身が考えるためのグループワークやディスカッションを入れてください。

テーマ例：

将来どんな新製品があったらいいかアイデアを出し合ってもらおう

企業の製品を広くPRする方法について意見を出し合ってもらおう



★社会人と接するのは生徒にとっても新鮮です。
企業の方と話しながら考えていく授業は、生徒にも好評でした。

<フィールドスタディ実施にあたっての留意点③>

★Locusに登録しても、
必ず授業できるとは限りません。

学校の募集に対して企業の申し込みが多い場合は、
フィールドスタディを実施できない可能性があります。
登録前にご了承ください。



06

Locus登録方法とお問い合わせ先

費用は無料です！

- ✓ 企業の登録・利用に費用はかかりません。
※出張講義の場合、講師の交通費はご負担ください
- ✓ 学校側も無償です。

Locus新規登録フォームはこちら

5/13✕

<https://locus.mynavi.jp/company/enrollments/about>



※本事業の趣旨および公序良俗の観点から、
業種・事業内容等によりご参画いただけない場合があります。

お気軽にお問い合わせください！

Locus・企業登録に に関するお問合せ

株式会社マイナビ Locus運営事務局
お問い合わせフォーム：
<https://90caed23.form.kintoneapp.com/public/locus-info>

本取組の趣旨等に に関するお問合せ

岡山県総合政策局地方創生推進室
TEL：086-226-7086
E-mail：sosei@pref.okayama.lg.jp

皆さまのご参画を心よりお待ちしております。

